

大阪医療センターをご利用くださる先生方へ

# Osaka National Hospital

# News



独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターニュース

No.81

令和5年12月

このニュースは、年4回、  
大阪医療センターの最新情報をお届けいたします。  
詳しいお問い合わせは  
地域医療連携室までお寄せください。



## 目次

### 地域医療連携室より

- ・ 新任及び退職医師のお知らせ ..... 2
- ・ 講演会のご案内 ..... 2

### 病院のトピックス

- ・ アドベンチャーホスピタル ..... 3
- ・ 調剤体験コーナーについて ..... 4
- ・ 緩和ケア研修会を受講して ..... 5
- ・ 予約方法について ..... 7
- ・ 診療科及び地域医療連携室の紹介 ..... 8
- ・ 大阪市緩和ケア医療機関マップのご案内 ..... 9
- ・ 脳卒中・循環器疾患におけるホットラインのご案内 ..... 10
- ・ NHO PRESSについて ..... 10
- ・ がん相談支援センターのご案内 ..... 11

独立行政法人 国立病院機構 **大阪医療センター**

**地域医療連携室** 令和5年12月発行 81号

〒540-0006 大阪市中央区法円坂2-1-14

TEL.06-6946-3516

☎ 0120-694-635

FAX.06-6946-3517

[HP] <https://osaka.hosp.go.jp>

[E-mail] [408-comonh@mail.hosp.go.jp](mailto:408-comonh@mail.hosp.go.jp)

# ～ 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの理念～

私たち、独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの職員は、

- 1、医療に係わるあらゆる人々の人権を尊重します。
- 2、透明性と質の高い医療を、分け隔て無く情熱をもって提供します。
- 3、医学の発展に貢献するとともに良き医療人の育成に努めます。
- 4、常に向上心をもって職務に専念し、健全な病院運営に寄与します。

## ～理念に基づいた病院の基本方針～

—— 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの診療・研究・教育方針 ——

### 1) 政策医療の推進

- ・ 基幹医療施設としての「がん」「心・大血管疾患」「脳卒中」「糖尿病」等、高度総合医療の実施
- ・ HIV/AIDS先端医療の推進（近畿ブロック拠点病院）
- ・ 3次救急医療と災害医療の推進（西日本災害医療センター）
- ・ 専門医療と総合診療の充実
- ・ 医療機関の機能分担の推進と地域医療への貢献（地域医療支援病院）



### 2) 高度先進医療への貢献

- ・ 技術開発：先進的医療の基盤となる技術の研究開発とその臨床応用の確立
- ・ 臨床研究：病因の解明、診療治療法の開発等の臨床並びにその基礎となる研究の実施
- ・ 臨床試験の推進：治験を含む臨床試験の円滑な実施とその管理・支援

### 3) レベルの高い医療人を育成

- ・ 卒前教育：医療系教育施設と連携した教育活動と実習生の受入
- ・ 卒後研修：初期臨床研修医及び後期臨床研修医（専修医）等、卒後の医療技術者の育成
- ・ 専門職の育成

### 4) 情報開示と情報発信

- ・ 透明性を保った情報の開示・発信

## 新任及び退職医師のお知らせ

### 新任医師

異動年月	職名	氏名	異動内容
R5.12.31	医師（皮膚科）	藤森なぎさ	退職
R6.3.31	集中治療部長	島原由美子	退職

### 退職医師

異動年月	職名	氏名	異動内容
R6.1.1	医師（脳神経内科）	岡田 周平	採用
R6.1.1	医師（皮膚科）	川喜多遥香	採用

## 講演会のご案内

開催日時	件名	内容	対象者
令和6年 2月 3日	第61回法円坂地域医療フォーラム	担当科：循環器内科・心臓血管外科	医療従事者向け ※開催場所： 大阪医療センター 災害医療棟3階講堂
令和6年 2月10日	第72回おおさか健康セミナー	担当科：循環器内科・心臓血管外科	一般市民向け ※開催場所： 大阪医療センター 災害医療棟3階講堂

**開催場所** 大阪医療センター 緊急災害医療棟3階講堂 **アクセス** 地下鉄谷町線・中央線「谷町4丁目」駅⑩号出口すぐ

**問合せ** 地域医療連携室（電話：06-6946-3516）

## アドベンチャーホスピタル

コロナの影響で4年間開催できていなかったアドベンチャーホスピタルを8月27日に開催できました。私自身に経験がないことや他のスタッフも久しぶりの開催で「どんな体験ブースにしようか」「準備は大丈夫かな」と思いながら当日を迎えました。

さて、私たち臨床工学技士の体験ブースは体外循環（人工心肺装置）と電気メスを準備しました。

（人工心肺装置とは、心臓手術を行う際に心臓と肺を代行する装置です。血液を全身に送ることと呼吸の役割をしています。

電気メスは、その名の通り電気をを用いて手術の際に組織などを切開したり、血液を止めたりするのに使います。）

展示ブースは、受付場所のスペースに仕事内容動画を映し、人工呼吸器や透析装置、ペースメーカーなどを配置しました。

体験ブースは、約20名の方々に参加頂きました。（定員18名）

受付は先着順に開始し、30分後には3分の2が埋まるほどでした。失礼ながら、その早さには驚きました。

体験者は手術室に移動し、約1時間30分の体験がスタートです。

まず初めに手術時に身に付ける帽子、手袋、ガウンを着てもらいました。装着後は、ポーズを決めて記念撮影をしました。ガウンや手袋に新鮮さを感じ、大好評でした。

体外循環体験は、シミュレーションを用いて実際の心臓手術で使用する人工心肺装置の操作を一人ずつ行って頂き、医療ドラマなどでも少ししか映らない貴重な部分を体験してもらいました。

人工心肺装置に必要な不可欠な鉗子にも触ってもらいました。鉗子は、少しコツがいるため苦戦する場面もありました。また、心臓がどのようにして止めているかなど手術に関連するお話をしました。

次に電気メス体験は、簡単な原理や使用場面を説明してから手袋を付けて鶏肉やスイカなどを切ったりして楽しんで頂きました。

最後に写真付き受講証明書を渡して体験終了となりました。

臨床工学技士の仕事を参加者の方々からお友達などに広めて頂き、もっと多くの方に知って頂きたいと思います。将来の夢の選択肢になると嬉しいです。

来年度もより良い開催をしたいです。



# 調剤体験コーナーについて

国立病院機構大阪医療センター 薬剤部

アドベンチャーホスピタル2023で薬剤部は、調剤体験ブースを設置しました。当日は、参加者の方々に私たち薬剤師が日々行っている調剤業務の中から、錠剤の一包化と散薬の分包調剤を体験していただきました。

一包化とは、用法が同じ薬剤を一つの袋に入れ、まとめる調剤方法のことです。多種類の薬剤を服用する場合やPTP、ヒートから薬剤を取り出しにくい場合に、必要に応じて一包化を行うことによって、薬剤の飲み忘れや飲みすぎなどの防止、患者さんの服薬コンプライアンスの向上を図ります。



今回の体験コーナーでは、チョコレートとグミを錠剤に見立てて錠剤分包機を用いて、一包化調剤を体験し、スポーツドリンクの粉、インスタントコーヒーの粉を散薬に見立てて、必要量計り散薬分包機を用いて散薬の調剤を体験いただきました。



参加者は学生から大人まで様々な年代が参加されました。参加された方々からは、「こんな風に薬って調剤されているんですね。」「一つの袋に何錠くらい入るんですか?」「すごい優秀な機械ですね。」「薬を作るのももしろいですね。」と調剤方法や機械に驚かれ、薬剤師の業務にすごく興味を持っていただきました。

また、参加者の方から「薬剤師さんはどうすればなれますか?」「やっぱり理系の方が多いんですか?」「大学は4年制と6年制がありますが、こういった違いがありますか?」と、薬剤師という職業に興味を持っていただいていることを肌で実感しました。

当日は80名の方が参加され、調剤体験をする中で参加者の方々と様々な話をし、薬剤師の仕事、やりがいについてもお話しでき、将来医療人、薬剤師という職業になりたいと思っていただくきっかけに少しでもなることができているのであれば嬉しく思います。



## 緩和ケア研修会を受講して



奥村 由紀

10月22日に当院にて緩和ケア研修会に参加させていただきました。当日は具体的な事例検討やロールプレイなど、実践的な内容であったことが印象に残りました。

事例検討では開業医の先生や心理士の方など、様々な背景をもつ方々と議論を行いました。

疼痛コントロールのための薬物療法について具体的な処方を考えるのは慣れないことで難しかったですが、実際にどうアセスメントを行い、どう処方をするのかなど、自身が緩和ケアに携わる際のイメージを掴むことができました。在宅療養への移行についての議論では、私自身は介護制度等についての知識がまだまだ少なく、十分に参加できない部分があり、今後さらに学ぶ必要性を感じさせられました。多様な視点から退院前から退院後まで幅広いアプローチのアイデアが提案されたことで多角的な議論となり、その中で医療者の果たす役割も理解することができました。

今後、自身が診療において緩和ケアに関わる際には今回の研修の経験をぜひ活かしていきたいと思っています。

今回緩和ケア研修会で、緩和ケアとは何かということについて授業やグループワークを通じて学習しました。

その中でも医師役、患者役、観察者に分かれて、医師が患者にがんの告知をする場面を経験するロールプレイが印象に残っています。今までがんの告知をする状況に同席したことはありましたが、自分でがんの告知をしたことはもちろんありませんでした。

実際してみると、教科書通りにいくものではないなと実感しました。例えば、「沈黙を控え」というのは教科書によく書いてありますが、今回、「沈黙が逆に気まずい印象を与えた」、「沈黙が苦痛だった」などの意見がありました。本で学ぶことも大切ですが、やはり実際の現場で経験することに勝るものはないと痛感したと同時に、医師は患者さんに学ばせていただく立場であると再認識できました。

今回の研修で得た様々な知識や経験を忘れず、医師人生に活かせたらと思います。





## 予約方法について

**当院では、インターネットによる予約受付を行っております。**

これにより、あらかじめID、パスワードを取得していただいている地域医療機関の先生には、インターネット経由でダイレクトに初診予約を取得していただけるようになりました。病院・診療所の診察室で患者さんと一緒に当院の受診日時まで決めていただけるため、何度も連絡していただく手間がなくなります。すでにご利用いただいている先生からは、おおむね好評をいただいております。

ただ、現状ではまだまだ不十分な点もあります。例えばシステム上、診療情報はインターネット経由ではなく従来通りFAXでの送信をお願いしております。

また特定の医師の予約ではなく診療科の予約にとどめさせていただいています。通常の外来診療の間に予約が入るため、予約時間に来院されてもお待ちいただくこともございます。

今後、従来のFAXによる予約とインターネット予約を併用しながら運用してまいります。インターネット予約がより安全で簡単・便利になりますよう、当院医療情報部でシステムの改良を進めてまいりますとともに、運用の改善を図ってまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



インターネット予約のID・PASSの発行希望の場合は、下記メールアドレス（**QR CODE①**）に病院名・お申込者名・お電話番号・FAX番号・住所を明記の上送付して頂きますと、当院地域医療連携室係よりID・PASSの発行を送付させていただきます。

また、インターネット予約へのアクセスは**QR CODE②**を、インターネット予約のマニュアルは**QR CODE③**を読み取っていただけますと幸いです。

### QR CODE①

ID・PASS申込  
メールフォーム



408-comonh@mail.hosp.go.jp

### QR CODE②

インターネット  
予約ページ



<https://info.onh.jp/fmi/webd>

### QR CODE③

インターネット予約  
マニュアル



マニュアルPDF掲載ページへ

# 診療科及び地域医療連携室の紹介

## 診療科の紹介

脳神経内科	循環器内科	腎臓内科	呼吸器内科
消化器内科	感染症内科	血友病科	血液内科
糖尿病内分泌内科	外科	消化器外科・肛門外科	呼吸器外科
乳腺外科	心臓血管外科	脳神経外科	整形外科
泌尿器科	総合診療科	産科	婦人科
眼科	耳鼻咽喉科頭頸部外科	小児科	皮膚科
精神科	形成外科	放射線診断科・放射線治療科	麻酔科
リハビリテーション科	口腔外科	臨床腫瘍科	緩和ケア内科



## 地域医療連携室の紹介

- ① 受診・かかりつけ医のご案内
- ② 他院への受診や入院、他施設への入所等に関する連絡調整
- ③ 再診予約変更センター（平日午後1時～午後4時）
- ④ セカンドオピニオンのご案内・ご予約
- ⑤ 病床管理
- ⑥ 医療・看護相談、退院支援・調整に関するご相談
- ⑦ 市民講座、学術講演会、研修会などのご案内
- ⑧ 大阪医療センターニュース（ONHニュース）の発行

\*看護・保健に関するご相談は、地域医療連携室が対応致します。

\*医療福祉に関するご相談は、医療相談室の医療ソーシャルワーカーが対応致します。





あなたがえらぶ緩和ケア  
希望の医療機関を見つけるための



# 大阪市 緩和ケア 医療機関マップ

「がんが進行しても、自宅で生活したい…」 「大きい病院へ通うことがつらい…」 「家族ががんになったとき、自宅で介護をしてあげたいけど、どこで診てもらえるの？」 「人生の最後は自宅で迎えたい…」 そんな時に、大阪市内の緩和ケアが受けられる医療機関約 300 件の中からご自宅に近い医療機関を調べることができます。



入院

通院

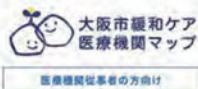
訪問  
診療



大阪市 緩和ケアマップ  
<http://kanwa.gh.opho.jp/>



過ごし方から医療機関を絞る



入院での緩和ケア提供医療機関  
をお探しの場合はこちら

- 緩和ケア病棟
- 緩和ケアチーム
- 症状緩和専門外来
- 入院での看取り対応
- 精神科/心療内科あり

- がん相談支援センターあり
- 24時間緊急対応
- 緩和的放射線治療
- 麻薬経口薬
- 麻薬貼付薬
- 麻薬持続皮下注射
- 麻薬持続静脈注射
- 胸水ドレナージ
- 腹水ドレナージ
- 気管切開管理
- 胃/腸うでの栄養管理
- PICC管理
- 中心静脈ポート管理
- 末梢静脈ルートのみ
- 輸血対応

入院での緩和ケア提供医療機関

地域で絞り込む

地域 ※地域を選択してください。(複数選択できます)

- 北区
- 西淀川区
- 淀川区
- 東淀川区
- 都島区
- 旭区
- 阿倍野区
- 東住吉区
- 平野区
- 西成区
- 住吉区
- 住之江区
- 城東区
- 東成区
- 鶴見区
- 中央区
- 天王寺区
- 生野区
- 浪速区
- 西区
- 大正区
- 港区
- 福島区
- 此花区

地域で検索 (複数選択OK!)

医療法人 ●●病院

住所：大阪府大阪市北区中之島 × 丁目 ××-× 電話番号：06-1234-5678

△△クリニック

住所：大阪府大阪市北区中之島 × 丁目 ×× 電話番号：06-8765-4321

詳細を見る

処置内容から医療機関を絞る

大阪医療センター

# がん相談支援センター

のご案内

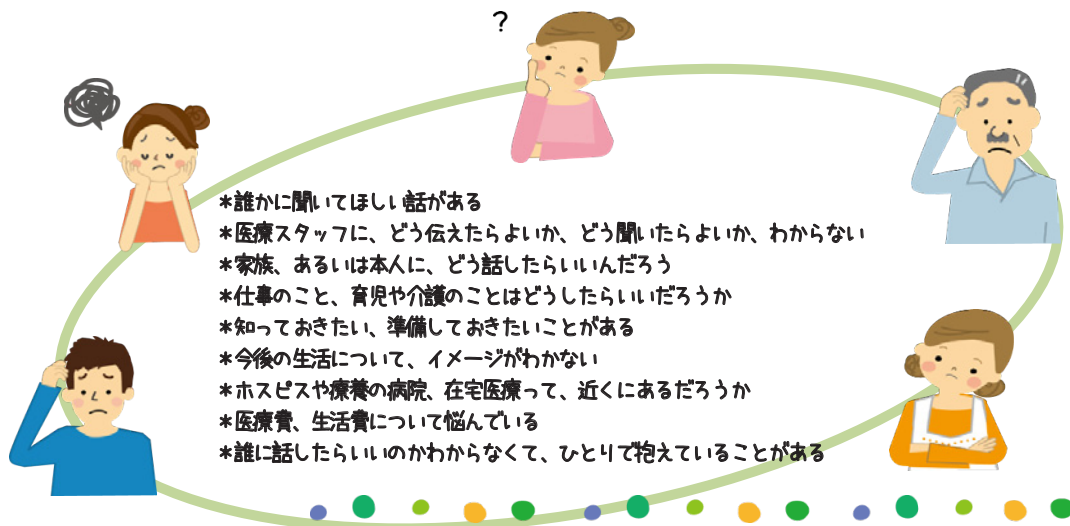


患者さん・ご家族が、治療を受けながら考えておられること、生活の中で抱えておられるお気持ち、などお話を聞かせていただくことにより、悩みやお気持ちの整理をお手伝いし、あなたらしい生活が送れる方法を一緒に考えます。  
一度、ご相談に来られませんか？

相談は無料で、相談内容における個人情報厳守いたします。

\* 匿名でのご相談も可能です。

\* 相談で知り得た内容を、相談者の同意なく第三者（主治医等を含む）に伝えることはありません。ご安心ください。



ご入院中の方は、ご希望により病室までお伺いします。  
また、当院で治療されている方でなくてもご相談をお受けいたします。

■ 大阪医療センター・がん相談支援センター ■

☎ 06-6942-1331 (代表)

[月曜日～金曜日] 10:00～16:00

外来休診日はお休みです

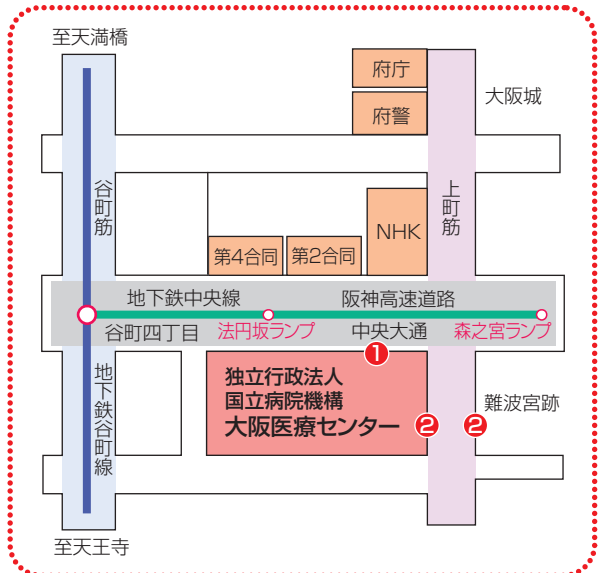
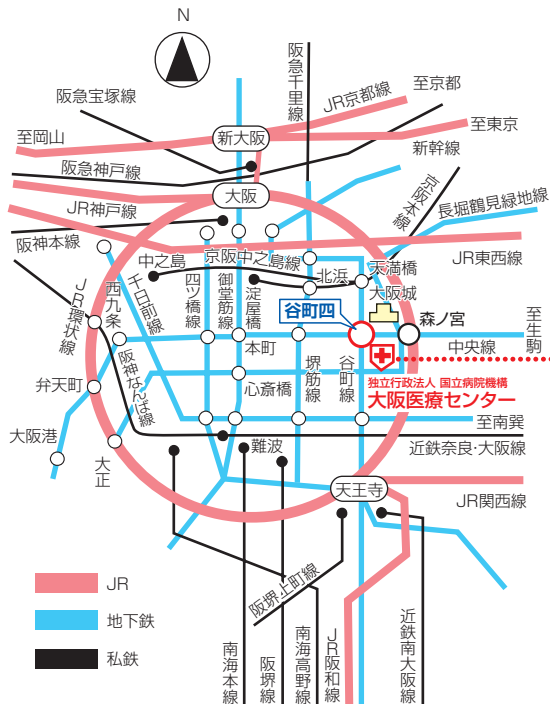
相談対応：看護師・医療ソーシャルワーカー



がん看護相談も  
実施中です



## 交通のご案内



① 地下鉄「谷町4丁目」11番出口 ② 市バス「国立病院大阪医療センター」

### ■地下鉄

谷町線・中央線「谷町4丁目」駅下車 ①番出口すぐ

### ■J R

大阪環状線「森ノ宮」駅下車、地下鉄中央線乗り換え  
「谷町4丁目」駅下車 ①番出口すぐ

### ■バ ス

市バス「国立病院大阪医療センター」下車

### ■マイカー・タクシー

・阪神高速 13号 東大阪線

▼環状線経由の場合

「法円坂」出口 上町筋を右折すぐ

▼東大阪方面からの場合

「森之宮」出口 中央大通り直進、上町筋を左折すぐ

・上町筋と中央大通りの交差点の南西角

・お車の出入口は上町筋です。